

社会福祉法人 呉ハレルヤ会

ベタニア たより

呉ベタニアホーム 呉ベタニアホーム長迫 ハレルヤ ユアネーム
tel:0823-26-8844 tel:0823-23-2003 tel:0823-32-5980 tel:03-6915-1347



3事業所を結んでオンラインによる夕礼

新型コロナウイルス感染防止のため、グループホームでは、3月から緊急時以外の面会をお断りしていました。しかし、長期化するにつれて、利用者やご家族の不安を解消するため、これまで行っていなかったインターネットやビデオメッセージなどを使って面会ができるよう工夫をしました。

このような面会方法を取れない場合もあります。看取り期にある入居者のAさんは、うとうとされる時間が多くなり、食事も目に見えて減ってきました。ご家族の希望は、病院ではなく慣れ親しんだ施設での看取りでした。私たちはその願いに応えることにしました。私たちはその願いに利用者を守りながら看取り介護をすることは初めてです。乗り越えなければならぬハードルがありました。

他の利用者のご家族は、緊急時以外の面会をお断りしていたからです。私たちは人生の最終段階にいるAさんに、ご家族と悔いの



呉ハレルヤ会理事長
里村 佳子

2020年を振り返って

新型コロナウイルス等支援物資の 受け渡し施設として起動 さっそくネット

呉市にも、新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。

最初に発生したクラスターの中に、その店を利用して介護老人保健施設のスタッフが含まれていて、感染が連鎖拡大し、2つ目のクラスターになったのです。介護従事者が恐れていたことが起こったのです。

新型コロナウイルスに感染した利用者が通う施設より「フェイスシールドやガウン等が足りないので配布してほしい」と、連絡が入りました。

呉ハレルヤ会は、災害や新型コロナウイルスなどが発生した場合、必要な情報や支援物資を届ける受け渡しの拠点になっています。

新型コロナウイルスは、すぐそこまで来ていると実感した瞬間でした。

広島県さっそくネット

広島県
S 災害時等における
A 安心を共に
S 支えあう
So 相互協力に関する
K 協定

祝3周年 雨にも負けずコロナにも負けず 訪問看護ステーション ユアネーム

3年前、何もかも手探りで始めた事業でした。東京は看護師不足と聞いていたので開設するとすぐに仕事が多くなると思っていました。杉並区は激戦区で、1年目は仕事がなく、看護師はケアマネジャーを訪ねて営業まわりの日々でした。

そんな地道な努力と、夜間でも訪問する体制が評価されて仕事の依頼が増え、今では地域に根付く存在になりました。

平均年齢28歳の若い6名の看護師等は、今日も自転車でも雨にも負けず、コロナにも負けず利用者宅を回っています。



東京・訪問看護 スタッフのイラスト

皆さまのお祈り、ご支援を感謝します

この年は、新型コロナウイルスへの対応のために、たいへんな一年でした。

呉では、9月末から10月中旬まで、クラスターが起こりましたが、皆さまのお祈りの故に、守られて感謝しています。

この一年も、ご献金を賜りましたことを感謝申し上げます。これまで振込用紙を同封していましたが、それをやめました。振込をお考えの方は、下記の口座にお願いします。

皆さまのお報いをお祈りしつつ。

ご献金を感謝申し上げます

二〇一九年十一月〜二〇二〇年十月 敬称略

- アライアンス吉浦キリスト教会／荒川美穂子／伊賀鮎美／岩城公順／インマヌエル広島教会／大島順子／尾田眞智子／木谷茂美／久保寿彦／児玉享／児玉雪江／坂本弘子／佐藤孝義／里村佳子／品川みゆき／武田久美子／田中直樹／谷本久江／土井しのぶ／中川倍江／中村正司／西岡里子／日本基督教団広島主城教会／野口睦子／長谷千代／引越のケイト／松元保羅／三川憲信／宮岡尚子／宮広信子／望月ハズエ／森和子／森山和子／山内加代子／山元スミ／よしの味噌／渡辺トモ子／

口座番号 01310-8-14770
名 義 社会福祉法人呉ハレルヤ会

社会福祉法人 呉ハレルヤ会 <http://www.bethania.or.jp/>

〒737-0046 広島県呉市中通4丁目9番17号 理事長 里村佳子

「サランの会」の皆様へ感謝します。エレベーター改修工事を終えて

理事 児玉雪江

呉ベタニアホーム施設長 宮岡尚子

ない時間を過ぎて欲しいと思ひ、ご家族に、体調管理などの協力をお願いして、面会をしていただくことにしました。その後、Aさんは親密な時を、心置きなく、ご家族と過ごされて、静かに息を引きとられました。Aさんの穏やかな死とご家族から頂いた感謝の言葉は、感染症と看取りで張り詰めていた私たちに、癒しと力を与えてくれました。

この度の看取りでは、新型コロナウイルスからは守られましたが、いつ私たちの施設でも感染が拡大するかわかりません。とはいえ、新型コロナウイルスばかりに注意が向くと、利用者の認知症が進んだり、足腰が弱って転倒したりする、悪影響も考えられます。なので、感染症を予防しながら、利用者の生活の質を落とさない新しい介護の仕方を目指して、さまざまなチャレンジをしています。



グループホームベタにあ おやつレク フルーツ寒天

この度、コロナ禍により活動休止していたボランティアグループ「サランの会」が解散されました。

「サランの会」は1998年施設開設と同時に活動を始められました。

代表の河上啓子さんをはじめメンバーの皆さんは入居者のために施設内で、定期的にお茶の会を開いて、入居者の皆さんのお話を聞き、お部屋に閉じこもらないようコーラス・俳句・習字・刺繍・手芸・絵手紙の場作りや、入居者からの要望で、洋服のボタン付けやサイズ直し、ほころびの繕いなどの手助けをしてくださいました。

2004年からは第3地区「ふれあいサロン」を企画・準備され、地域の方々が気軽に当施設に集まるきっかけとなりました。

言葉は尽きませんが、「サランの会」の皆様は21年間もの長い間のご奉仕に、心から御礼を申し上げます。

これまでの愛の働きに神さまが、お一人おひとりに豊かに報いてくださいますよう、お祈り致します。

クリスマスおめでとうございます。新年の祝福をお祈りします。

呉ハレルヤ会一同

オンラインを使用した研修会

ケアハウス 呉ベタニアホーム

生活相談員 前川 芽衣

9月29日に、記念研修会をZOOMで行いました。当初は感染拡大防止の為、研修内容で参加者を決め、フロアにて研修会を行う予定でした。しかし、呉市で新型コロナウイルス感染のクラスターが発生した事を受け、急遽オンラインを使用した研修へと変更しました。

研修を行うフロアには最大4名が出席し、他にパソコンやタブレットを使用し、別の場所5箇所から各2名ずつ研修へ参加しました。オンラインを使用した研修会は初めてでしたが、音が途切れたり、画面が途中で切れたり等ハプニングはありませんでしたが、研修の内容もよく理解でき、考え、意見を発表する機会もありました。

新型コロナウイルスが流行し、今まで行っていた事が難しくなってきました。今までのようにできなくなると立ち止まらず、他に方法はないか検討し、今回の研修が行えたのだと思います。

変化が求められる今、柔軟な発想で乗り越えていきたい！と考えています。

コロナ禍での対応について

呉ベタニアホーム長迫 村上賢

当法人では行政からの通知に従い、家族の面会制限や感染症対策を行っています。外出や面会が出来ない為に、利用者・家族ともにストレスが増大すると考えられます。その為オンライン面会を行える体制を整えました。

利用者にマスクを配り、利用前の体温チェック、手洗い・消毒の徹底、利用者間のソーシャルディスタンスを保ち、感染症対策を行っています。

新型コロナウイルス感染症の収束が、現在も見えない状況ではありますが、引き続き感染症対策に細心の注意を払いながら利用者の生活を支えています。



呉ベタニアホーム長迫の作品

9階建の当施設はエレベーターが必須です。以前から、エレベーターの不具合・部品の製造の中止、半地下にある機械室の浸水等と懸念されることばかりで改修の検討をしていました。また最近水災害が続いて、改修に踏み切らせざるを得ない状況になりました。

そこで、工事期間のご入居者の過ごし方について職員間での話し合い、アンケートの実施、説明会等で各ご入居者の過ごし方を確認し、長年の課題でありました工事に踏み切ることにしました。2月に工事契約をし、コロナ禍の中、予定通り7月1日にエレベーター改修工事に着工しました。そして8月12日に事故もなく守られ、終了しました。神様に感謝します。またご入居者、保証人の皆様、職員、忍耐して過ぎて下さり感謝します。

今は大雨が降っても安心です。またエレベーター内は広いので、ストレッチャーはそのまま入り、三密を防げるためコロナ感染症の予防にもなります。

オンラインでの夕礼

ハレルヤ 管理者 大上望

コロナ禍で、利用者・家族の面会は制限され、職員の事業所間の往来は最小限としました。予期せぬ事態は収束しませんが、立ち止まりません。私たちは、本通・長迫・中通の事業所間の情報共有を図る為、ZOOMを活用したオンライン夕礼を7月より開始しました。

夕礼では、里村理事長や宮岡施設長が祈られ、不在の時は出席者で、主の祈りを唱えます。同時刻に別の場所にいる職員が顔を合わせ、祈りを分かち合えるようになりました。この恵みは、予期せぬ事態がもたらしました。今後、逆境に挑み、希望に向かっていきます。



グループホームベタにあの敬老会